



# ThreeD360

ThreeD360は、Theta等の全天球カメラで、左右にずらして撮影した2枚の画像から、VRビューワーで見られる全天球3D画像を作成するiPhone/iPad用のアプリです。

シンプル機能で使いやすいアプリを目指して開発しました。

作成した全天球3D画像の保存とか、アナグリフ表示等、高機能なアプリを使いたい方は、拙作のi3DSteroid360をご利用下さい



# 撮影方法

被写体まで 1～2mの距離で、1枚撮影し、右に2～3cmずらして2枚目を撮影する。

注意)

- ・被写体が、2枚撮影する間に動かないようにする。動くと立体になりません。
- ・手振れしないよう、しっかり固定して撮影し、真横に平行移動する。
- ・カメラの横方向は、立体にならないので、横方向に近いものが写らないようにする。

撮影した画像を、スマホに転送する。



# 左右画像選択

ホーム画面で「スタート」ボタンを押し、スマホに取り込んだ画像のあるアルバムを開き、左右2枚の全天球画像を選択してから「完了」ボタンを押す。

最初だけは、アルバム選択が必要ですが、次回以降は、最後に使ったアルバムから開きます。アルバムを変更したい場合は、画面左上の「アルバム選択」を押して下さい。

画像を選択しないで「完了」ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。



# 全天球3D画像作成

アプリが全天球3D画像を作成するまで少し待つと、左右横並びの全天球3D画像が表示されます。

ピンチズームで画像の大きさを変える事ができますので、好きなサイズで観賞して下さい。



全天球3D画像作成中  
(少し時間がかかります)





# VR観賞

スマホをお持ちのVRビューワーにセットし、色々な方向を見渡します。  
左の写真のようなクリップタイプのVRメガネの場合は、左右画像の境界に合わせない上手く立体にみえませので、ご注意下さい。  
上手く立体に見えない場合は、左右の画像が逆になっている可能性がありますので、ボタンを押して、左右画像を入れ替えて観賞下さい。

観賞が終わったら、左上の ⊗ ボタンを押すとホーム画面に戻ります。



# iPadでのVR観賞

設定で、VR画像スケールを調整し、  
クリップタイプのVRメガネをセットすると大画面のiPadでもVR観賞できます。



ThreeD360

スタート

サンプル

チュートリアル

設定

## その他の機能

### 「サンプル」

作者が、Theta Sで撮影した全天球3D画像をランダムに表示します。

### 「チュートリアル」

使い方が表示されます。

終了する時は、左上の  ボタンを押します。

### 「設定」

大型のiPhoneやiPadでも、画像を小さく表示することで、クリップタイプのVRメガネが使えます。  
表示スケールを設定します。